



Ferris University

2007 No.5

# フェリス女学院大学同窓会会報



《聖句》

「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」

ルカによる福音書 6章31節

# 最近身辺記

理事長 小塩 節



この春は、わが学院にもいろいろ苦しいことがあります。ようやく春先が晴れわたつたのは申せ、この春一か月で七キロやせました。あげくのはてに、疲労のせいでか、変な肺炎に罹り、ありとあらゆる抗生素剤を投与されたのですが、ほんの一、三日はよくても、すぐまた悪くなる。ただ、肺炎特有の超高熱はせず、八度位なので、フラフラとしながらも働き続けました。最後にわかつたのは、何とまあ、カンジダかびによるもので、両肺の下半分がレントゲンでは真っ白。結核のように人さまに感染しないことがわかつて、ほつとしま。

「カンジダ肺炎だと、老人は死ぬよな」と、お医者さんたちが言い合っている。ふつとこちらを見て、「この人、まだ老人じゃあねえな」ですと一まつたく口が悪い。

さて、いろいろな薬を経験して思いますが、ある病気にどんぴしやり効く薬を見つけ、それを効果的に病患部に撃ち当てるって、たいへんなことらしい。軽い風邪、あるいはインフルエンザのようにすぐ病名原因がわかるものは手の

打ちようがあるけれども、いったい何の病気なのかわからないのは困ります。癌の場合は部位によって大変わしい。

一そんなことより、今、思いますのは、薬が強ければ強いほど、害になる面も強いでしょ。つまり、副作用です。新聞、テレビなどで薬害の報じられない日はない、とき々言えます。一寸したミスでも訴訟問題になります。当然のことでもあります。

しかし、こういう面もありますね。百か千の種類の薬のうちのひとつにひどい副作用があつたとする。けつて悪意ではないけれども、九九〇〇の有効性より一例の害のほうが、マスクにはのりやすい。ニュース・ヴァリューがあります。ニュースって、ふつうはまともで健全なことは報道価値は低く、変わったこと、異様なことはニュースになりやすい。当然です。しかもいつたんニュースになつて活字や画面に出ると、人はそれを信じてしまがちです。あとで「誤報でした」と小声で訂正があつても、誰も聞いてはいない。

というわけで、信頼するよいドクターに、ほんとうにいい薬を見つけ出して撃ちこんでいただくのが大切ですね。

で、今春の私の場合は、抗生素質という抗生素質がすべて駄目で、副作用もありました。じつくり効いたのは、この場合は何と漢方薬でした！ 私事にて失礼。

# 「聞く楽しみ」

学院长 岡野 昌雄



ゴールデン・ウイークの終わりに、前任校で教えた卒業生たち数名が遊びに来ました。国立大学の助教授をしているK君一家（奥さんと二歳の息子）、彼の友人で都立高校の教員をしている同じく卒業生のS君、K君の教え子のOさんとその友人のT君さんとK君とT君さんという顔ぶれです。最後の三名は大学はそれぞれ違いますが、高校が一緒だったたという友人同士で、今はれつきとしたOしたちです。私が教えたのはK君とS君、K君が教えたのはOさんだけ、あと

妻が元気な頃は、張り切つて彼らをもてなし、彼らも遠慮なしに、来る前から奥さんとのあの料理が食べたいとか注文していまして。それ以来毎年我が家に集まり、十年以上の交際です。

妻が元気な頃は、張り切つて彼らをもてなし、彼らも遠慮なしに、来る前から奥さんとのあの料理が食べたいとか注文していまして。それ以来毎年我が家に集まり、十年以上の交際です。

言つて、彼らがあれこれと持ち寄つて、私は場所を提供するだけです。楽しみは何といつても彼らの交わす会話です。彼らたちが学生の頃は、それぞれが学んでいる大学の話。彼らたちの通う大学のうち私が出講した経験があるのは一つだけですから、同じく大学といつてもいろいろ違う裏話が聞けました。就職した今は、全員がまったく違う職場ですし、特に企業に就職した経験がなく大学しか知らない私にとっては、興味深い話ばかりです。

卒業後の進路が違つても大学が同じだと何となく共通の話題があるものですが、共通項が何もない彼女たちの話は私にとって新鮮な内容ばかりです。現役の大学教員時代も、訪れてくる卒業生たちの話を聞くのは楽しみでした。自分の狭い世界が、彼らの話してくれる未知の世界につながつて広がる感じがしました。卒業生一人ひとりとの付き合いというだけなく、彼らを通して自分の社会経験とか意識が形成されてきたようになります。同級生たちも違う仕事をしていませんので、それなりの興味深い話は聞けますが、同じ世代だけに、ものの見方が共通しているところがあります。しかし世代が違うと、同じことについても見方が違いますので、それだけ話の面白さが違います。このような楽しみを味わえるのはいつまででしょう。

# 本学の近況について

学長 本間 慎



同窓生のみなさん、ご健在でお暮らしのことをお喜び申し上げます。

さて、少子化が進行し、大学は全入時代に入り、日本の私立大学の4割は定員を満たすことができず、統廃合を進行している状況があります。本学は皆さんのご協力をはじめ教職員の努力により受験生も順調な経過をたどっています。昨年度は入学辞退率が予想より低く学生定員を十分確保することができました。

新入生は関東地方が全体の74%と圧倒的に多ですが、中部9・9%、北海道、東北7・1%と受験生会同様に全国的な広がりを示しています。現役が87・8%ですが、志願別にみると第1志望が31・8%、とくに注意しなければならないことは第4志望以下が30・5%と1／3を占めていることです。これらの学生が本学で学んで卒業するときにはフェリスで学んでよかったですという教育を私達は心がけていきたいと思つてます。最近は女子学生でも共学志向が多いといわれております。

れていますが、共学校へ行きたかったが、32・5%と多い中、女子ばかりだと気兼不要となり、金学院をあげて取り組んだ『モーツアルト生誕250周年記念・募金コンサート』は、昨年10月9日、山手の力

方が自立心が芽生える17・0%、しかし、同級生など周囲の視線を気にするようになる23・3%という意見もあります。これらの意見を参考しながら、「For Others」の建学精神にもとづいて自立した近代的な女性の育成につとめたいと思っています。

今年は娘さんが母親に大学の様子や授業内容をメールや電話で報告しているうちに母親も入学したくなり、受験して見事合格し、親子共学といったホットなニュースが新聞報道にもなりました。

就職については、就職希望者に対する就職内定率は99・1%で、卒業者に対するそれは75・1%です。大学院等進学率は約10%です。

就職のコース別では総合職44・4%、一般職26・8%、規模別では大企業47・9%、業界別ではサービス業29・6%、金融業24・1%、職種別では事務職29・1%、営業職18・0%といったところです。

もちろん、大学は就職のためにあるのではなく、豊かな教養と人格を形成し、卒業後は社会人として、社会のために有為な働きができる人材の育成にあるものと思っています。その観点に立つて日々私たち教職員はつとめております。

## 募金コンサートの報告とお礼

フェリス女学院維持協力会が主催者（バリストン・渡邊明、ソプラノ平松英子、ピアノ・黒川浩）となり、金学院をあげて取り組んだ『モーツアルト生誕250周年記念・募金コンサート』は、昨年10月9日、山手の力

【入場者数】955人（定員986人）  
【協賛企業数】34社  
【収益金】4,595,714円

Fグループ会長 大谷 園子  
募金コンサート実行委員長

今年は娘さんが母親に大学の様子や授業内容をメールや電話で報告しているうちに母親も入学したくなり、受験して見事合格し、親子共学といったホットなニュースが新聞報道にもなりました。

今年は娘さんが母親に大学の様子や授業内容をメールや電話で報告しているうちに母親も入学したくなり、受験して見事合格し、親子共学といったホットなニュースが新聞報道にもなりました。

今年は娘さんが母親に大学の様子や授業内容をメールや電話で報告しているうちに母親も入学したくなり、受験して見事合格し、親子共学といったホットなニュースが新聞報道にもなりました。

### プログラム

#### I 小塩節理事長による講演

#### 「天地に響くモーツアルト」

#### II 音楽学部教授陣による演奏

「モーツアルト名曲選」



## 維持協力会へのご協力をお願いします!!

### 《問合せ先》

本部事務局 維持協力会担当

Tel : 045-662-4511, 4503

Fax : 045-651-4630

E-mail : hsoumu@ferris.ac.jp

# Fグループ・りてら・りべるて 合同総会

2007年4月30日・緑園キャンパスにて



第5回合同総会は、好天に恵まれた緑園キャンパスで開催されました。

はじめに、各同窓会がそれぞれの総会を開き、一同チャペルに移動し、大学宗教主任廣石望聖先生の司式により礼拝はとり行なわれました。

次に同窓会を代表し、りべるて金子会長よりご挨拶と、りてら田辺会長、Fグループ大谷会長の紹介がありました。

大学より本間学長のご挨拶をいただきました。今年度も受験生の大規模に対する期待は大きく、志願者数の減少も少なく、更に合格辞退者が殆どないとの事です。また、環境問題は先ず女性からとの視点から様々な取り組みを行い、その中で“新エネルギー財団会長賞”を受賞されたそうです。その他大学生活の中で将来を見据え、勉学に励む様子も伺つことができました。

続いて音楽部新卒業生による演奏を楽しみました。

最後に懐かしい校歌を歌いチャペルを後にしました。

場所を食堂に移しての懇親会では、小塙理事長による講演“子育て、孫育て”を伺いました。先生の新刊『育児の不安はどんていけ』よりの楽しく為になるお話をし



来年は四月二十九日（火・祝）です。  
皆様お誘い合わせの上ご出席下さいま  
すようにお願い致します。



## Fグループ総会

4月30日緑園チャペルにおいて、久保浩先生、  
堀由紀子先生をお迎えし、76名の同窓生が集いF

グループ総会が開催されました。まず選挙管理委員長より3月1日の幹事会において会長選挙が行わ  
れ、大谷会長が再選されたとの報告がありまし  
た。続いて会長より、昨年10月の募金コンサート

への同窓員の協力に感謝の言葉が述べられ、こ  
れからも大学と会員とのパイプ役として活動して  
行きたい旨の挨拶があり、講事に入りました。  
06年度会計報告、会計監査報告、活動報告、07

年度予算(案)、活動予定が報告され、それぞれ承  
認されました。さらに各支部から活動報告がなさ  
れました。

引き続き学部長の久保先生からは、募金コンサ  
ートの協力へ感謝のお言葉をいただき、少子化の  
状況下にあっても大学が一丸となってより良く發  
展して行く道  
を歩んでいる

ことなどをお  
聞きしました。

母校と音楽  
学部の未来に  
希望と期待を  
持ちつつ閉会  
となりました。

本年も皆様の  
同窓会活動へ  
のご参加を、  
心よりお待ち  
しております。

(報告般若須美  
子・30回)



## 第23回 りてら総会

日時 4月30日

来賓 於 8号館大会議室  
文学部 国際交流学部 渡辺浪一先生

馬橋憲男先生

今年のりてら総会は、旧役員三人に新役員  
四人を加えて始まりました。田辺会長のご挨

拶の後、四月七日の幹事会で承認された事業  
報告、決算報告、ショップ会計報告、今年度  
予算案などがそれぞれ報告されました。又、  
昨年、広場に寄贈されたハンカチの木の紹介  
もされました。遠くは神戸から、そして愛知

フェリス会の方々のご出席もありました。来  
年はもっと出席もありました。来

年は、多くの皆様をお迎えしたいと  
思っています。

たくさんの良い企画で皆様をお迎  
えしたいと

古川先生からは、自分の人生の中で一番輝いていた時  
代だと感じている。これから日本の中心的底力は、  
足立先生、意思を継いで下さった奥山先生、五十川先生  
に不思議なお導きを感じている。会を支えて下さった同  
窓生の幸せをお祈りしているとのお言葉を頂きました。

議事に入り、2006年活動報告、決算報告、会計監査  
報告が承認されました。引き  
続き2007年活動計画(案)、  
予算(案)について審議され  
承認されました。

今年の主席者は委任状を含め  
145名でした。この縁が  
皆様の交際の場になればと役員  
一同願っております。今年も、  
総会が益々終りました事を  
感謝と共にご報告致します。



## 第18回 りべるて総会

去る4月30日(月)キダーホールにて総会が開催さ  
れました。

初めに、「金子太良よりご挨拶と、昨年行われた「維  
持協力会募金コンサート」に際し、チケットを購入し  
て頂いた多くの会員の皆様への感謝と収益金を学院へ  
寄付する事。学院と同窓生が一つになって大成功に終  
わったとの報告がありました。また、例年行われてい  
るバザーと講習会。来年、りべるてに改組され19年を  
迎えるため、皆様に楽しんで頂く企画を考えていると  
のお話がありました。

ご来賓の友井先生からは、愛する家政科の皆様が、一  
生懸念家政科を愛し、同窓会を盛り立てて下さっている  
事を幸せに思う。同窓会を育てて下さった、高野先生、  
足立先生、意思を継いで下さった奥山先生、五十川先生  
に不思議なお導きを感じている。会を支えて下さった同  
窓生の幸せをお祈りしているとのお言葉を頂きました。

古川先生からは、自分の人生の中で一番輝いていた時  
代だと感じている。これから日本の中心的底力は、  
足立先生、意思を継いで下さった奥山先生、五十川先生  
に不思議なお導きを感じている。会を支えて下さった同  
窓生の幸せをお祈りしているとのお言葉を頂きました。

議事に入り、2006年活動報告、決算報告、会計監査  
報告が承認されました。引き  
続き2007年活動計画(案)、  
予算(案)について審議され  
承認されました。

今年の主席者は委任状を含め  
145名でした。この縁が  
皆様の交際の場になればと役員  
一同願っております。今年も、  
総会が益々終りました事を  
感謝と共にご報告致します。



\*ソプラノ独唱

● 松本 真代  
中田喜直 作曲

● 「ほしことなんぽぽ」  
ロッシー 作曲

セヴィリアの理髪師

より「今の歌声は」

ピアノ 原田 裕子



## 音楽学部新卒業生演奏



同窓会では、今年、  
卒業生をお迎えすることができます。  
● 文学部 274名 ● 国際交流学部 223名  
● 音楽学部 91名 ● 大学院 36名

## 同窓の輪の広がりを

音楽学部長 久保 浩



心地よい日だまりの  
ある4月末の緑園キャ  
ンパス、Fグループの  
同窓会総会に出席して、

昨年度と変わらず、同窓会会長、役員の方々、  
そして遠路いらした支部長はじめ皆様と懇談の  
場を得られ印象深い半日でした。卒業生として  
お忙しいなか活動を続けていく難しさを超  
えて、同窓の輪を広めていかれる様子を聞かせて  
いただき、これから卒業して行く若い学生も、



35歳を迎えたFグループ  
Fグループ会長 大谷 園子（11回）

Fグループの皆さ  
ま、お元気でいらっしゃ  
いますか。同窓会報  
でご挨拶申し上げるの  
も4回目となります。  
3月の幹事会で再任さ  
れ、もう1期3年、会長の役をお預かりする  
こととなつたからです。皆さま、同窓会活動  
にいまいっそ理解・ご協力をお願ひ申  
し上げます。

今年はFグループが発足して35年目になり

そのあたりを十分理解して、受け身ではなく積極的に参加していく雰囲気が必要であると感じた瞬間でもありました。

大学としては少子化のなかにあって、フェリスの音楽教育を盛り上げていただく事に感謝すると同時に、学生を送り込んでいただく広報の大重要な要件の一つとして、卒業生の皆様に依存するところ大であるとの認識をも新たにしました。

音楽学部になつて20年になろうとしています。総合大学の1学部という魅力的な存在のなかにあって、文学部そして国際交流学部にも支えられつつ、音楽学部として財政的な節減の努力をしながらも、エピストラの記事などでもたびたび紹介していますように、音楽芸術学科、

演奏学科それぞれに特徴的に発展・充実しながら、活発に演奏・教育の展開が継続できましたこと、大いに感謝したいところで。更に今後どのように発展していくかは、教員の音楽学部への強い愛着と、学生との信頼関係・熱意のある指導が引き続き行われていくことで、新しい展開が開けてくるものと信じています。

山手キャンパスの5、6号館の建物も1970年に建ちましたので、そろそろ40年近くとなり、次のステップを考えなくてはならない時期に来ております。総会でも触れさせていただきましたが、皆様には今後とも引き続き音楽学部への強力な支援をいただければ大変にありがとうございました。

ます。フェリス女学院に音楽専攻の学科が生まれたのは1947（昭和22）年ですが、卒業生は全学同窓会「白菊会」に属していました。1972（昭和47）年、音楽学部・学科卒業生は白菊会の内部であります、「Fグループ」の名称のもと、独自の同窓会活動を立ち上げたのです（正式の独立は1983年）。

For Others 精神のもとに音楽を学んだ者が、世代や地域を超えて互いに交流し研鑽する、と同時に母校と音楽教育の発展のため他のフェリス同窓会と手を結んで貢献する——そのためのしっかりと基盤が生まれたのは意義深いことと考えます。

そして、昨年秋の「モーツアルト生誕250

周年記念・募金コンサート」の成功にも、Fグループは大きな力を發揮しました（詳細は別紙「報告」参照）。実行委員会の中心となつた役員たちの働きもさることながら多数会員が切符を買い、労力を提供し、募金してくださいました。あらためて深くお礼申し上げます。

もちろんFグループにとつては、独自に企画する秋の3音楽会（ジョイント・コンサート、研修会、ティータイム・コンサート）も、新旧会員の交流研鑽をはかる大事な年間事業です。ほかにも同窓会の仕事は多岐にわたりますが、さいわい、新役員会には従来のベテランに加え、有能な若手が多数参加してくれましたし、各地方支部にも人材がそろつております。全国の会員の皆さん、どうかご協力くださいますように。

# 2007年 音楽の贈り物

## ジョイントコンサート

06年9月18日 フェリスホール



2006年のジョイントコンサートは、9月半ばの初秋というよりも夏の余韻が残る天候のなか開催されました。

この日は、複数の声楽およびピアノのソリスト達による素晴らしい演奏が披露されました。各々の方が個性溢れる演奏をされ、場内は太学の先生方をはじめ大勢の聴衆の皆様により、大いに盛り上がりました。

毎年開催されますこうしたコンサートで、多くの卒業生の活躍ぶりを知ることが出来ます。同窓生として大変大きな喜びです。

本年度もフェリスホールで予定されておりますので、皆様どうぞ楽しめになさってください。お一人でも多くの方のご来場を心よりお待ちしております。

**【出演者】**

- \* 山形明子（ソプラノ独唱・55回）
- \* 御園生瞳（ピアノ伴奏・52回）
- \* 花井梨江（ピアノ独奏・52回）
- \* 早川満理（ピアノ独奏・50回）
- \* 荒川美江（ピアノ独奏・54回）

（ソプラノ独唱・46回、院1回）・西村泉（ピアノ伴奏・46回）\* 桶口かおり（ピアノ独奏・44回）  
（担当 上月早苗・23回）

### ◆ジョイント・コンサート出演者募集

毎年9月開催予定のジョイントコンサートはFグループ会員、音楽学部関係者であれば出演可能です。詳細は事務局までお問い合わせください。（書類選考あり）

例年10月に開催されております研修会は、2006年度は行わらず、わりに学院維持協力会主催「モーツアルト生誕250周年・募金コンサート」の成功に向け、役員は全力で協力いたしました。



## ティータイム・コンサート

06年11月9日 山手6号館632教室



今回のティ

タイム・コンサートは、オペラハ

ウスチューリッ

ヒに合唱団員

（国家公務員として所属されていらっしゃる、

スイス在住の井田芳子さん（37回）をお迎え

しました。当日は同窓生をはじめ、多くの

方々にお越しいただきました。

演奏には井田さんのパートナー、テノールノ独奏・54回）\* 花井梨江（ピアノ独奏・52回）のトマス・ビュツツさんに賛助出演してい

たまき、小倉一美さん（30回）にピアノ伴奏をお願いしました。

歌詞の発音が素晴らしい、また重唱は演

技つきで情感たっぷりに歌われ、本場のオペラハウスで活躍されている様子がうかがわれる演奏に拍手が沸き起きました。

また公務員でいらっしゃる井田さんのオペラハウスでの仕事や舞台裏の話などに、皆様聞き入っておられました。

その後、井田さん、トーマスさんを囲んで、井田さんがスイスからお持ち下さったフレーバーティーとカフェテラスフェリス（6号館食堂）のケーキでティータイムのひと時を過ごしました。

（担当 清水千晴・52回）

昨年の同窓会総会において、任期満了に伴う次期Fグループ会長選挙のための選挙管理委員会が立ち上げられました。

会長として相応しい方を推薦していただきよう皆様にお願いしておりましたところ、前委員会が立ち上げられました。

昨年の同窓会総会において、任期満了に伴う次期Fグループ会長選挙のための選挙管理委員会が立ち上げられました。

会長として相応しい方を推薦していただきよう皆様にお願いしておりましたところ、前委員会が立ち上げられました。

## Fグループ会長選挙報告 大谷園子さん（11回）が再選



昨年の同窓会総会において、任期満了に伴う次期Fグループ会長選挙のための選挙管理委員会が立ち上げられました。

会長の大谷園子さんお一人が5人の方々の推薦をうけ立候補されましたので、去る3月1日（木）、学年幹事会において信任を問う選挙を行いました。▼総数 30票 ▼信任 29票 ▼白票 1票（白票は信任とみなす）

▼委任状 53通。以上の結果、計83名の方々の賛成をいただきました。

Fグループの会則に従い、過半數票をもつて信任されました大谷園子さんが再選となり、ひき続き会長として活躍していただけ事になりました。

（選挙管理委員長 田口妙子・7回）

## Fグループ2007年度 コンサートのご案内

### ジョイント・コンサート

9月24日（月・祝）14:00開演

於：フェリスホール ¥2,000

【出演者】

ピアノ：川村よしみ（38回）・小野いずみ（51回）

大橋雅子（43回）

ヴァイオリン：梅田みお（56回）

声楽：堀部敦子（56回）・池田まゆ子（53回・院8回）

**研修会 小さき星 はるかな空**  
武久源造氏によるオルガン等の演奏とお話  
～ソプラノ船堂久美惠さんと共に～

10月8日（月・祝）14:00開演

於：フェリスホール ¥1,000

### ティータイム・コンサート

11月8日（木）14:00開演

於：フェリス女学院大学山手632教室 ¥1,000

内容：未定

講師：白井貴子（31回）

～白井貴子氏プロフィール～

'81年CBSソニーよりデビュー。NHK「ひるどき

日本列島」他、CM、ラジオ等で活躍。

'07年、神奈川県初の環境大使に任命される。

《お問い合わせ・お申し込み》

Fグループ事務局（木曜日 10時～17時）

Tel & Fax : 045-681-6740

## 新役員紹介

会長	大谷園子（11回）
副会長	森 康子（25回）・小林周子（29回）
書記	小倉一美（30回）・般若須美子（30回）
会計	小西和代（22回）・佐々木淑子（36回）
企画	海野美栄（44回）・井上千佳子（44回）
会報	清水千晴（52回）
常任	小島レイリ（52回）・澤田真美（52回）
会計監査	宮崎奈穂子（47回）
事務局	土屋友紀（48回）
中田幸子（9回）	中田幸子（9回）
木村あづさ（43回）	木村則子（22回）
井上眞記子（22回）	井上眞記子（22回）



## 支部だより

### 北支部

杉田 知子（31回）

6月9日、フェリス女学院大学同窓会北支部主催の「バロックダンス講習会」が開催されました。

終了とともに“ラボー”的声と、たくさんの拍手。気持ちはバロック時代に見えない内容がギッシリ詰まっていた。

う。

今年度のふれっし

ゅ・コンサートは、始

まつて以来の出演者の

少なさです。卒業する

と良いホールでの演奏

や高校の先生方に聞い

ていただけた機会が少な

いので残念です。出演の融合を味わいました。ご指導くださいま



### 九州支部

支部長 安波 裕子（24回）

新役員でスタートしました九州支部では、5月8日ラフアエル・ゲーラ氏のコンサート、9日公開講座及びレッスンを行いました。コンサートは先生の美しい音色に

演と、合唱やデュオの楽しい会を予定しています。小塙先生のファンがまた増えるでしょう。

各々の活動を認め合い、信頼・協力関係の築ける支部を目指していきたいと思います。

田佳代さんの地元でのジョイントコンサートを岡山在住の同窓生が応援し、感動して心からの拍手を送ったという嬉しい後日談もありました。

この時の出会いから、野中有子さん・前田佳代さんとの地元でのジョイントコンサートを岡山在住の同窓生が応援し、感動して心からの拍手を送ったという嬉しい後日談もありました。

お問い合わせ

〒399-6137  
03-3966-1378  
9月1日以降（土曜日のみ）  
045-212-2396

### フェリス音楽教室

こどもたちとともに50年

#### ＜緑園教室＞

生徒募集（3歳から高3）

・ソルフェージュ科（クラス授業）  
・実技科（個人レッスン）

ピアノ  
ヴァイオリン  
チェロ

見学・入室 随時  
毎週土曜日音楽学校校舎にて

お問い合わせ（土曜日のみ）  
045-813-1070

<http://www.ferrismusicinst.org>

#### ＜山手教室＞

受験科体験教室 生徒募集  
～音楽学部推薦入試に向けて～

日 時：2007年9月1日  
場 所：山手校舎5号館

高3以上  
15：40～18：40  
高1・高2  
16：50～18：30

#### お問い合わせ

須藤多恵子（29回）  
03-3966-1378  
9月1日以降（土曜日のみ）  
045-212-2396

### 中部支部

## 中部支部

支部長 牛込 まり（25回）

昨年の秋は、三宅春恵先生が亡くなられて1年であり、大橋多美子先生のご提案もあり「三宅洋一郎先生、春恵先生を偲んで」というタイトルで演奏会を持ちました。たくさんの門下生が出演を快く引き受けたださり、良い演奏会になりました。その演奏会に出演してくださった伴野さち子さん（21回）が4月に亡くなられ言い知れぬ寂しさを感じています。

今年の秋は小塙節先生をお迎えしての演奏と、合唱やデュオの楽しい会を予定しています。小塙先生のファンがまた増えるでしょう。

した浜中先生、ありがとうございました。  
フェリス卒業生ならではの大切な時間をつくるお手伝いを、今後もさせていただきたいと思います。



### 関西支部

支部長 柴田 美和子（21回）

京阪神地区だけでなく、滋賀、奈良、和歌山を含む近畿全域、そして中国、四国地方に於いても、それぞれの場所に根を張つて活動する同窓生が増えています。今年は中国、四国地域の方たちとの出会いを期待して、4月12日に岡山県の倉敷で最寄り会場の支部会を行いました。

お互い初対面も多い12名の出席者は、新緑の芽吹きで一段と美しい美観地区内で会食、そして散策ながら古い蔵を改造したサロンにお移動してティータイムコンサートと、年齢差を超えて楽しい時間を過ごしました。

この時の出会いから、野中有子さん・前田佳代さんの地元でのジョイントコンサートを岡山在住の同窓生が応援し、感動して心からの拍手を送ったという嬉しい後日談もありました。

お問い合わせ

"FOR OTHERS"を尊重し大学と同窓会のお手伝いが出来る事を願っております。

8

の意義をうまく卒業生に伝えていければと思います。

醉い、素晴らしい演奏で「ラボー」と大喝采でした。



## 2006年度会計収支報告

<収入の部>

項目	予算額	決算額
終身会費	4,000,000	4,000,000
研修会会費	100,000	0
ティータイム会費	30,000	37,000
ジョインコンサート	280,000	292,000
宛名シール	15,000	33,100
雑収入	50,000	61,007
小計	4,475,000	4,423,107
前年度繰越金	2,498,081	2,498,081
収入の部合計	6,973,081	6,921,188

<支出の部>

項目	予算額	決算額
(1)運営費	1,320,000	911,123
会議費	30,000	6,627
印刷費	60,000	50,889
通信費	10,000	32,407
人件費	400,000	343,820
交際費	80,000	28,140
事務費	50,000	59,528
出張費	60,000	58,630
交学年幹事会費	330,000	277,500
特別委員会費	70,000	53,582
予備費	30,000	0
	200,000	0
(2)活動費	3,150,000	2,069,269
総会関係費	550,000	475,405
研修会関係費	350,000	151,352
ティータイム関係費	130,000	111,526
会報関係費	750,000	555,388
ジョインコンサート	320,000	234,718
リサイタル後援費	100,000	50,210
支部関係費	550,000	417,090
慶弔関係費	200,000	73,580
予備費	200,000	0
(3)諸会費	370,000	370,000
連絡会維持費	70,000	70,000
維持協力会費	300,000	300,000
(4)積立金	750,000	750,000
名簿積立金	50,000	50,000
積立金	700,000	700,000
(5)予備費	1,383,081	0
支出合計	6,973,081	4,100,392
剰余金		2,820,796
支出の部合計		6,921,188

監査の結果、妥当かつ正確であったことを確認しました。  
Fグループ会計監査 熊本 美也子  
有坂 緑

from  
once a student

## 卒業生だより

友人が運転する車の中で、ディートリッヒ・ブクステフーデのCDを聴きながら夏の休暇が話題になる。今年はこの北ドイツ音楽派巨匠没後300年とあつて、カンタータやオルガン曲を聴いたり、自分で演奏する機会が多い。

35年もの間、リューベックにあるマリエン教会で教会音楽に貢献したブクステフーデは、毎日曜、朝礼拝と午後の礼拝そして夕べの音楽を企画し演奏した。当後任を彼の未婚の娘と結婚する事を条件に探していたところ、ヨハン・マッテゾンやG・F・ヘンデルもこの職に興味を示したが後継者にはならなかつた。J・S・バッハもアルンシュタットからリューベックまで行くために休暇を取つて、ブクステフーデの華やかな装飾法、豪放

日本人のオルガニストとして、私は人生の半分をイスの教会で務めてきたが、その資格があるかと問う事が度々ある。教会が博物館になりつつある現在のヨーロッパの状況からも言えるように、宗教音楽を聖なる場所で信仰を共にした仲間と祝う習慣が失われている。330年の歴史があるルツエルンのイエズイッテン教会で昨年、フランシスコ・ザビエル生誕500年の礼拝があつた。ふと自分が日本人である事を嬉しく思った。歴史は浅くとも、生きる信仰を携えているアジアに未来があると信じたい。



イエズイッテン教会の前にて。礼拝で共演しているバロッククァルテットのメンバーと。

出席人数35名。06年度一般会計収支報告及び会計監査報告、07年度の一般会計収支予算案報告が行われ、承認を得ました。各役員の活動報告に引き続き、「同窓会名簿の発行について」が審議され、検討続行となりました。次に昨年度発足した選挙管理委員会による会長選挙が行われました。最後は自由討論にて有意義な意見交換が行われ、閉会となりました。

07年3月1日 山手6号館 632教室

## 学年幹事会



おめでとうございました

犬飼久美子さん（49回）

万里の長城杯国際音楽コンクール

優秀賞受賞されました。

向坂由美子さん（44回）  
御園生瞳さん（52回）

2006年11月15日  
第1回ピアノ歌曲伴奏コンクール  
優勝されました。

◆ 住所・電話・姓の変更 旧姓・整理番号(宛名ラベル右上にある7桁の英数字)と一緒にお知らせ下さい。

◆ 慶弔 同窓生、先生の慶弔を一報下さい。

◆ 山手校舎6号館632教室の貸出し、おります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

◆ 電話・FAX (045) 681-6740  
E-mail : fgroup@ferris.ac.jp

### ● フェリス女学院維持協力会 募金箱についてご報告

Fグループ催しの折、設置しております募金箱より計4,100円を2月8日、維持協力会へ送金しました。ご協力頂きありがとうございました。



Fグループ会報編集  
澤田 真美(52回)

小島レイリ(52回)

## 当 今 学 生 考

学生部長 大野 英二郎

## 一〇〇七年度役員



さか狼狽いたしました。浦島太郎もこんな気持ちであったかと思われます。

自分の人生の中で、生活を一変させたモノは何ですか、という質問を授業の合間に学生にすることがあります。それぞれが生きてきました。

教師を続いていると、四月になつて新入生を迎えるのも、いつしか当たり前のことのようになるものですが、今年は少し事情が異なりました。一つは学生部長として様々な新入生歓迎行事に関わったため、もう一つは入学した学生の多くが今年から平成生まれになつていたためです。私とて昭和が終わつたことを忘れたわけではありませんが、年号が変わつたのが新年早々だつたこともあり、それが何年まで続いたのか、記憶する機会を逸してしまいました。したがつて平成についても心許なく、いまだに何年であるのかがよくわからりません。覚えたと思うと、すぐ解、高速道路は四通八達しているのが当たり前でしょう。数年前に

「新」の字がついているのか不可

能ではありません。しかし後続の世代にわかれました。しかし後続の世代に

とつては、生まれたときからテレビは「天然色」で、新幹線になぜ

「新」

時代の開始を告げているように思われました。しかし後続の世代に

わかれました。

大学でも危機管理などといふことが呼ばれるようになつて久しく、学生部長となつたがために、

節をまげて携帯電話を持たざるを

えなくなりました。電話や仮壇な

どいうものは黒光りして、家の

奥の方に鎮座しまして、いるからこそ有り難いのだと信じておりますから、これは生活の一大変化でした。しかしこの道具が自分の人生のランドマークになるという予感は今のところ、幸いなことに、

見つけられた感じがして、いさ年になんなんとする歳月を一挙にの中に携帯電話が入り込んでいた

ありました。

のではないでしょうか。人間関係の形成も、さらには自身の人格形

成さえ、その小さな装置に大きく依存していたかとも思われます。

つまりモノに限つていえは、彼女たちにとつては何か革命的な遭遇があつたということではなく、その

生きてきた歴史的時間は案外のつぱりとして、つかみ所のないもののように観察されます。実際こちらの質問の意図を理解してもらうのに苦労いたしました。人間関係についての基本的な感覚や感受性において彼我の間に大きな違いがあるのは当然でしょう。

大学でも危機管理などといふことが呼ばれるようになつて久しく、学生部長となつたがために、

節をまげて携帯電話を持たざるを

えなくなりました。電話や仮壇な

どいうものは黒光りして、家の

奥の方に鎮座しまして、いるからこそ有り難いのだと信じておりますから、これは生活の一大変化でした。しかしこの道具が自分の人生のランドマークになるという予感は今のところ、幸いなことに、



会長	田辺 真弓	E 72
副会長	松本世以子	J 71
書記	小保川陽子	E 62
〃・会計	酒井 篤子	E 74
大矢 節子	J 71	
大関 公子	E 74	
鈴木 裕子	E 72	
会計監査	出口 洋子	E 70
〃	坂井 久子	E 62

## りてら同窓会室から



会長 田辺 真弓 (72E)

第24号りてら会報をお届けいたしましたと同時に、新役員会から皆様にご挨拶申し上げます。この会報を通して、全国に広がる同窓生の方々が母校フェリス女学院大学で学ばれた日々を懐かしく思い起こしてくだされば幸いです。

本年四月の総会は無事終了し、総会後の懇親会では遠方から駆けつけてくださった方々と共に、世代を超えた時間を忘れてお話しすることができました。この場に集うことのできなかつた方々も十一月のフェリス祭に、ぜひいらしてください。このキャンパスを見ていただければ、学生たちの持つている可能性を最大限引き出すにふさわしい場であることに気付いていただけることだと思います。また、私達が学んだあの頃と変わらない、温かく優しい空気を再び感じができるでしょう。

大事なのは、変わっていくこと、変わらざにいること。進化していくキャンバスと共に、時を隔てても変わらない大切なものを次の世代にずっと受け継いでいくことが、同窓会の役割ではないでしょうか。

昨年、りてらから大学にハンカチの本を寄贈させていただきました。図書館脇の芝生に植えられたこの木は、中

國の山地原産の花木で、伝説によると昔皇帝の美しい一人娘と親しくなったひとりの青年が、それを知った皇帝に殺されて一本の木となり、そしてその木に取りすがって泣いた姫の魂がハンカチの木になつたということです。白い大きな2枚の花びらが眞白いハンカチに似ていることに由来する名前だとのこと。そして花をつけるまでにはなんと10～15年もかかるそうです。

太陽の恵みをたくさん受け、時には強い雨や風を受けながら、十数年後に美しい花を咲かせるその時のために、土の中でゆっくりしつかり根をはつていくハンカチの木のように、私達も母校フェリス女学院を見えないところでしっかりと支えつつ、さらなる学院のご発展を静かに見守つていけたらと願つております。

りてらショッピングでは、只今約30種のグッズを販売しております。これまでに23品のオリジナル商品を開発し、学生の皆様をはじめ同窓会員の皆様にも大変好評でご利用いただいております。

今年は写真のようなトリロジースタイルのネックレスを開発いたしました。過

去、現在、未来を表現し、シルバー、ゴ

ールド二種類をご用意致しました。

お求めいただいた商品代金の一部は、

## 新製品が出来ました。—りてらショッピング—



¥3,500

## 2006年度 フェリスショッピング会計報告 (2006年4月1日～2007年3月31日)

収入	
ジャパンビバレッジ販売部	779,544
フェリスショッピング(緑園)	1,343,130
通販	246,610
白菊・りべるて他	336,115
利	1,262
小計	2,706,661
繰越在庫	1,112,131
前年度繰越金	2,352,062
合計	6,170,854

支出	
小林紙工	816,070
ワールドアイ・丸加	904,638
振込料・エリスバッグ他	21,983
合計	1,742,691
来年度繰越金	4,428,163

## りてら資産

定期預金	70,000,000
------	------------

監査の結果、適正なものと認めます。

監査　出 口 洋 子  
春 日 井 節 代

## りてら2006年度決算報告 (2006年4月1日～2007年3月31日)

収入		決算
終身会員費	16,770,000	
預金利息	27,219	
雑収	143,994	
小計	16,941,213	
前年度繰越金	28,215,523	
合計	45,156,736	

支出		決算
事務報会	101,762	
印会総通給交雜手	141,603	
刷閲信	3,451,998	
連連	1,552,887	
用	221,269	
刷閲信	1,398,870	
閲	453,930	
連	107,640	
連	8,859	
連	368,544	
連	261,862	
業	873,600	
業	42,100	
業	10,980	
業	8,641	
業	1,972	
業	2,000,000	
業	0	
モーツアルト	302,320	
モーツアルト	11,308,837	
モーツアルト	33,847,899	
モーツアルト	45,156,736	

## 決算報告

## 卒業生紹介

### 毎日が日曜日の過ごし方

金子 のぶ (53E)

私は、この五月で、三期九年務めた学院理事を退任しました。この間、学院の運営に関する事項の審議を通して、貴重な経験をすることができたことを感謝しております。

振り返ってみると、同窓会選出の理事でありながら、同窓会役員の皆様の献身的なお仕事には何も参加できなかつたことを、大変申し訳なく思っております。

私は、短大英文科を卒業後クリスチヤンスクールでもある女子大で心理学を学び、裁判所職員として定年まで働きました。い



### 愛知フェリス会

岡田 郁子 (85J)

### 近況をご報告いたします

愛知フェリス会は県下の皆さまとともに6年間歩んでまいりました。近況をご報告いたします。

第5回の集いには、日本紅茶協会認定ティーラクターの岡本陽子さん(旧姓松尾さん・93K卒)を講師に迎え、紅茶セミナーを開催いたしました。秋も深まつたある日の午後、温かい紅茶と美味しい焼き菓子を楽しみながら、お茶の入れ方・茶葉についての基礎知識を学びました。実用面もさることながら、この

ひと時のティータイムを通して身も心も豊かに温まるよい時間を皆さまと共に過ごしました。講師の岡本さんは現在各種専門学校講師、紅茶関連メーカーインストラクターとして当地にてご活躍なさっています。

第6回には、尾張徳川家ゆかりの徳川美術館において「聞香講座」を体験いたしました。参加者の多くが初心者でしたが、ご指導くださった美術館の先生方にとてもわかりやすく香の道の扉を開いていただきました。静寂の中で、ただ香りを聞くことのみ心を傾け、一片の香木の幽かな香りを深く観賞し、日本の伝統

### りてら会員の皆様へ

\* 「人事新報社」からのはがき等に  
「注意ください」

最近「人事新報社」と称するものから「フェリス女学院大学同窓名鑑」なるものを発行するとのはがきが、同窓生各位に送りつけられていることが判明しました。

(1) 大学及び全ての同窓会は、この「人事新報社」とは全く無関係です。

(2) 大学及び全ての同窓会は、個人情報保護の観点から現在名簿の作成は行っておりません。

督促の通知が届くような場合もあるとも聞きますが、一切返信の義務はありません。はがきへ返信された場合、「りてら」としては責任を負いかねますので、ご注意ください。

また、記されている電話・FAXへの問合せは、かえつて個人情報を流出させることがあります。がきへ返信された場合、「りてら」となりかねませんので、充分にお気をつけ下さい。



### 講習会の御案内

【実用書道】

毎月第二火曜日

【フラワーアレンジメント講習】

十月十三日 午後一時

\* 受講御希望、詳細については、同窓会室にお問い合わせ下さい。

# りてらアーカイブ

前号より始まりました懐かしくフェリスに想いを馳せるページです。

今回は八年間のフェリスでの教鞭を終えられた後、現在オープンカレッジの講師を勤めています川西進先生のご登場です。

## 「受胎告知」ヒフェリス

今年の春、東京、上野の国立博物館で、  
フレンツェにあるレオナルド・ダ・ヴィンチの「受胎告知」の絵が展示されました。

多くの方が見に行かれ、それぞれにさまざま

な感想を持たれましたことでしょう。私の受

けた感動はなぜかフェリスの大学に在職

していたときの記憶を喚び起すものでした。

ダ・ヴィンチが描くマリア像が、教室

での学生さんの態度を思い出させたのに始

まりて、天使ガブリエルが訪れた庭は、山

手の十号館の前の芝生、そして庭垣の向う

に居すまいを正している木々は、十号館の

窓から見える木々、画面の右手、遠景の海に

点々と浮かぶ帆船と高い塔の立つ並ぶ街町は

横浜、さらにそれより向う、たなびく雲よ

り高く、うつすらと、しかしどうしりと聳

え立つ山は、緑園キャンパスから望み見る

富士の姿に通じるとさえ思つたのでし

た。

ご存知のように「受胎告知」の絵は  
「ルカによる福音書」にあるマリアと天使  
ガブリエルとの対話を基にしています。そ  
れを題材として、たくさんの「受胎告知」  
の絵が描かれて来ました。なかでも有名  
なのは、同じフレンツェにあるフラ・ア  
ンジェリコの壁画でしょう。「この敬虔な  
一幅の画は数巻の注解書にまさって、受胎  
告知の意味を啓示する」とも言われました。



### 【川西進先生 略歴】

- 1931年生。東京大学、アーモスト大学卒、ブラウン大学大学院英文科、東京大学大学院英文科修士課程修了、同博士課程中退。
- 1962年横浜国立大学講師(英語、英文学担当)
- 1963~66年同助教授。
- 1966~81年東京大学教養学部助教授。
- 1981~92年同教授。
- 1992~2000年フェリス女学院大学文学部教授。
- 2000年以降、同オープンカレッジ講師。

同じことがダ・ヴィンチの絵についても言えるのではないかでしょうか。啓示される意味はアンジェリコとは違つかもしれませんが、それは「受胎告知」の持つ意味がそれだけ豊かだからでしょう。聖書に記されたこの由々しい出来事は、何時の世にも、誰にでも起こることに関わるものでした。

「受胎告知」の絵が私にフェリスの思い出を甦らせたのはそのためかと思います。ダ・ヴィンチの絵を近くから熟視して驚いたのは、綿密な細部描写でした。天使とマリアの頭髪は一本一本波打ち結われる。さまたが描かれ、衣服の複雑な襞は克明に連れられ、庭の花、床の石肌、石台の模様、書見台上の本の文字など、まるで接近撮影写真のように描かれています。それと明らかに見える整然とした枝振りの木々の風景であり、その遙か先には幾つもの丘、さらに遠くには海、海の彼方には霞の中に山が聳え立つといったパノラマが展開しています。

これらのさまざまなお景、遠景にまとまりを与えるものが、全体を一点に収束する遠近法でした。その一点は画面のほぼ中央、空氣遠近法によって薄い色で描かれた遠い山の中腹より少し下あたりであります。その一点に収斂する遠近法の線上で、近くにあるもののきめ細かな佇まいから、遠くに霞む丘、海、山に至るすべてのものが、各々の場を与えられ、その一点から発する光によってそれぞれの存在が照らし出されているよう見えます。それがあたかもその一点から、見える神が風景全

体を見守り、そこにあるすべてのものに存在の意味を与えているようでした。男を

知らぬ私が身ごもるとはどういうことか、という極めて身近な、個人的な問題に驚き、怖れ、心を乱されたマリアは、天使の御告げから、まわりの社会全体、人間の歴史全

体を見る目を与えられ、やがてマリア自身が歌うように、これは救い主イエスをこの世に遣すためのこと、のために、私のとマリアの頭髪は一本一本波打ち結われる。さまたが描かれ、衣服の複雑な襞は克明に連れられ、庭の花、床の石肌、石台の模様、書見台上の本の文字など、まるで接近撮影写真のように描かれています。それと明らかに見える整然とした枝振りの木々の風景であり、その遙か先には幾つもの丘、さらに遠くには海、海の彼方には霞の中に山が聳え立つといったパノラマが展開しています。

思えば、フェリス在職中の私の最も嬉しい思い出も、「受胎告知」を受けたマリアのよう

に、個人的には理解も想像もできなかつたことを、一生の大切な使命として受け留めるようになる学生さんたちの姿でした。



# りべるて

Vol.19

## 日々の活動の中で



会長 金子 和恵

りべるて会員の皆様、お健やかにお過ごしでいらっしゃいますか。今年も会報をお届けできます事は、寄稿並びに編集にご尽力下さいました方々の陰と厚くお礼申し上げます。

4月30日の総会にご出席下さいました友井先生のご挨拶の中で「りべるてを思う多くの同窓生は、家政科が幕を閉じてから更に同窓会を盛り立てようとしている。そして、Dクラブ（頭文字のDは家政学のdomestic scienceより）がりべるてに移った歴史を思うと見えない力を感じる」とお話を下さいました。

また、吉川先生は『家政科の卒業生は

家庭を大切に過ごしている。』とお話下さいました。これらのお話は、りべるての活動をする時にも感じます。総会の返信葉書にお書き頂く近況欄で、一番多い事は、ご家族の介護をしていらっしゃる事です。もちろん子育て中の方、また、お孫さんのお世話をされている方もいらっしゃいます。この会報を何より楽しみにされて、フェリスで過ごした青春時代を思い出し、何度も読み返されて、そしていつか、山手の家政科記念館を訪ねてみたいと思っていらっしゃいます。短大の2年間はとても短く、勉強も忙しかった訳ですが、家政科で学んだ事や、沢山のお友達に出合えた事を財産として過ぎてもらっています。会員の皆様のご期待に答えております。

来年度は、家政科同窓会りべるてとなり二十年を迎えます。

二〇〇八年三月に記念の会を開催致します。

詳細は、追ってお知らせ致します。

会員の住所管理は大切な柱です。しか

## お知らせ

### 行事予定

●二〇〇七年

十一月一日（金）・三日（土・祝）

フェリス祭参加バザー  
午前十一時～午前十時半

十一月十四日（水）  
ステンドグラス講習会

十二月八日（土）

フェリス女学院同窓会  
クリスマス礼拜

午前十一時～カイパー

●二〇〇八年

一月

大森先生お菓子教室

二月

北欧絵織物教室

三月

二十周年記念会

し、転居等住所不明となられた方をこちらからお調べする事は困難です。会報等届いていない方をご存知でしたら、ご本人からりべるてにご連絡下さる様に是非お伝え下さい。

家政科記念館で行なう講習会は、友井

先生のお料理教室をはじめ、ビーズ、ステンドグラス、北欧絵織物、お菓子と国内外活躍されている卒業生に実費のみで教えて頂けるというものです。おひとりで参加されてもすぐに皆様仲良くなつて楽しい時間を過ごす事が出来ますので是非ご参加下さい。

恒例のバザーは献品が少なくなつておりますが、役員のアイディアで収益金を上げようと頑張っております。収益金は全額維持協力会に寄付いたしますので、ご協力を宜しくお願ひいたします。

この一年も皆様のご理解、ご協力を

お願いいたします。  
十一月一日（金）・三日（土・祝）

毎週木曜日 午前十一時～午後三時

受付場所・家政科記念館  
〒231-18790 横浜市中区山手六八  
家政科同窓会りべるて宛  
郵送・宅配便でお送りいただいて結構です。

## フェリス祭バザー

りべるて

# ◆特集◆家政科記念館



りべるでは1989年3月に最後の卒業生を送り出してから18年となります。当時会報「山手68」に掲載された、中島先生、五十川先生の文章は家政科の卒業生に暖かい印象をもたらすお書き下さったものです。しかし私達はどれ程その思いを受けて読む機会を持ちたいと思いました。

そこで、今回特集として、改めて当時の理事会の議事録も合わせてお読み下さい。

## 創られつつある歴史

名誉顧問（元学院長・理事長）  
中島 省吾



あれからもう式10年になろうとしていると告げられ、時の流れの速さに驚きつつ、短期大学家政科の発展改組の頃を想いおこしている。

フェリス女学院の、キダーサンの塾から近年までの百三十数年間の歩みは、前に創られたもののに新しいものが積み上げられて今日に至る、継承と形成の歴史であった。

三学部と大学院とより成る今日のフェリス女学院大学はキダーサンが新しい日本社会への幻を抱きつつ、少数の幼い少女たちに宗教的・教育的情熱を注ぎこんだ創立当時のキダーサンの学校から、予科・本科、中等部、高等科、高等部、専門学校、短期大学などを経て、それら

の基盤の上に築き上げられた。今日のフェリス女学院はそのようにこれまでの各異なる形でその歴史を閉じることになつた。その頃の短大家政科は活気に溢れ、内外の評価も高く、入学志願者の増加や財政状態の余裕に支えられて、その存続を強く希望する者が多かつた。

それゆえ、その新入学生の募集停止は、同窓生や当時の学生・教職員にとっても、辛い、心の痛む決断であった。

その中で、五十川学科長も記されてい るように、「家政科はその最高の社会的評価と共に（中略）華麗な校舎と校地、及び（中略）資金の全てをフェリスの新しい歴史の流れの中に投入し」国際文化学科への発展改組に協力された。

そして、その関係者すべての理解と協力によって新しい大学への道が開かれた。その過程は五十川学科長の云われるところ、「歴史を創る」歩みであった。

国際交流学部のその後の歩みは、かつての短大家政科の関係者の想像したものとかなり異なると云えるだろう。

また、その後の歩みはさらに異なるかもしれない。その国際性ははるかに広い視野を備え、その社会的関心はかつて

予想しなかつた分野に及んでいる。そしてそのような発展の方向はさらに今後拡大されると期待したい。現在も、今後も、歴史は創られ続ける。

（一〇〇七年六月記）

## 1988年2月25日 理事会議事録より

昭和63年5月18日

同窓会長宛 中島学院長より要望書について「1988年2月25日に開催された1987年度第4回（臨時）理事会において、承認されましたのでお知らせ致します。」との報告があり議事録と一緒に返事をいただきました。

議事録より

第7号議案短期大学家政科記念館の設置ならびに短期大学家政科記念事業基金の設定について  
中島学院長より、第7号議案資料にもとづき、前回の理事会に報告された短期大学家政科同窓会よりの要望に応えるための施策として（1）6号館第2別館を短期大学家政科記念館として永久保存し、これを家政科同窓会に使用されること。  
(2) 1988年度の決算時に、短期大学家政科の保有資金から支出して、第3号基本金に「短期大学家政科記念事業基金」1億円を設定し、その果实からの支出によつて同窓会の諸活動等を支援すること等を骨子とする家政科記念事業を実施すること。

について説明し、提案がなされた。議長は、本提案の承認を諮り、全会一致で承認した。

## 短期大学家政科の 発展改組について

学院長 中島 省吾

1987年12月23日に文部省から、太宰文学部国際文化学科の設置を認可する旨の通知がありました。これは、6月末に行つたフェリス女学院からの申請に応えたものですが、短期大学家政科について、1988年度から新入学生の募集を停止し、その在学生の卒業をもって、家政科の歴史に終止符をつけることを前提としたものです。

は、十数年もまえ（宮本元院長の頃）だったと思います。そして、その時に、「被服・食物・保健を中心とする、いわゆる「一般家政」」中心のカリキュラムを改め、基幹としての衣食住に児童教育、社会経済、情報文化、外国语などの科目を大幅に加え、必修を減らし選択の自由を拡げされました。

この変更は、今日の家庭婦人に家庭をとえる広い視野が期待されていること、また、職業的に豊かな教養をもって仕事を取り組むことを望む学生たちが多いことを認識して行われたものといえます。云いかえれば、家庭においても社会においても、新しい時代に即応できる、創造的で、知性豊かな女性の養成を目指していました。

かたがち性の差別を目指していまさうだ  
このよなカリキュラムの改訂によって、フェ  
リスでは、他校で家政科の志願者が減るころから  
かえつて短大家政科の志願者が増加し、卒業生や  
入学者の資質について社会から高い評価をうける  
ようになつたといわれます。

大学の文学部国際文化学科は、このような組織改組として誕生しました。また、六号館や家政科の資金の多くを引きつぐことによって、その発足が可能となつたといえます。名称的にはつながりが薄いようにみえるかもしれませんが、短大家政科が近年目指してきた方向をすすめて、生活文化にとどまらず、社会的かつ国際的に広い意味を含んだ文化意識の涵養を目指し、一層開かれたかつ自由なプログラムへと飛躍したといえましょう。

『家政』という名称が消ることは大変寂しいことですが、『国際文化』という表現のもとに、フェリスの家政教育の伝統が新しい衣を着て再出発したと考えています。

なお、先般、理事会のご理解がえられ、6号館第2別館は、「短期大学家政科記念館」として永久保存する方針が認められました。そして、この建物は家政科同窓会の活動のために貸与されることになっています。

政学部あるいは家政学科をつくるよりも、近年の家政科カリキュラムの改訂の方向にそつた、新しくて関係者が検討された結果、大学文学部に国際

歴史を創る者へ

家政科は今年度限りをもってその歴史を閉じます。四年制の国際文化学科として新たな歩みを始めるからです。

育つて行くことを期待します。卒業生一人一人のご健康を祈ります。

会計監査		総務会計記録												副会長	
郷渡辺祐美	佐藤晃子	堤あをみ	岩江真理子	河合恵子	鈴木初枝	近藤誠子	志村嘉子	三浦由里子	石井克子	遠藤木美子	北村周子	小倉由紀子	金子和恵	村本とよ子	
D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
43	40	57	55	51	47	44	44	64	47	43	45	43	43	35	51

きに短大家政科教授会は、4年制大学への発展改組の要請を提出されました。

短大家政科同窓会は将来現任の大学同窓会「りてら」や、音楽科が音楽学部の同窓会となるんで、大学同窓会のなかの一つのグループとして位置づけるという方向で協議をすすめています。

歴史を創る者は自らの生命を新たな歴史のなかに止揚させます。家政科も歴史を創った者の

## 友井先生のお料理教室

六月七日、友井先生のお料理教室が開催されました。

お菓子教室で教えていただいております  
大森先生もご参加ください、一卒業生とし  
て一緒に楽しくお調理されました。

今回のメニューは、ミネストローネ（イ  
タリア・ミラノ風野菜スープ）とフランス  
田舎風ミートローフ（キャベツの千切りが  
たくさん入ります）とグリーンサラダとア  
イスクリームで、三班に分かれての実習と  
なりました。

お食事の時には、皆様となごやかに美味  
しくいただきました。



### 祝 矢吹恵子先生

長年にわたり日本にノルウェーの絣織物を広げた努力に対してノルウェー王国功労勲章と勳記を授与されました。



2007年5月10日、ノルウェー王国大使館にて、グレッドレノルウェー王国大使と共に。

札押堂や  
旅先で見た  
ステンドグラ  
ス、どれ  
も美しく、  
その色、技  
術に心を奪  
われました。  
そのステン  
ドグラスを自分で作るなど、思いもよら  
ぬことでしたが、講習会への誘いをいた  
だき、本当にできるのか不安でしたが思  
いきって参加しました。

クリスマスリースの制作で、ハンダゴ  
テで各パーツをつなぐ、初めの一歩は、  
恐る恐る！次第にリースの型になり、キ  
ヨロッと周りを見て、デコレーションや  
リボンを付けて完成した時のうれしかつ  
たことは云うまでもありません。短い時  
間で仕上がるようになると、ご準備くださつ  
た先生のお心づかいと、やさしい励まし  
とご指導のおかげで新しい体  
験ができましたことを感謝致  
します。これれないようになります。  
大切に持ち帰りさつそく飾り、  
”私が一番！”と思つたの  
は私だけでしょうか。  
企画して下さった役員の  
方々にも感謝致します。次回は  
何かなど楽しみが増えました。

(一〇〇六年十一月開催)  
市川素美子(D 41)

### ステンドグラス作りに挑戦！



### ■2006年度決算報告書 2006年4月1日~2007年3月31日

科 目		金 額 (円)
受 取	利 息 費	1,007
事 業 費		3,784,456
名 簿 代 金		1,000
寄 付 金		2,000
小 計		3,914,463
前 年 度 繰 越 金		13,540,950
合 計		13,932,413
支 出	寄 付 金	300,000
	交際費	20,000
小 計		320,000
次 年 度 繰 越 金		13,612,413
合 計		13,932,413
繰 越 金 紹 介	定期預金(横浜銀行) 定期貯金(日本郵政公社) 定期貯金(同上) 通常貯金(同上) 通常貯金(同上) 普通預金(横浜銀行) 現 金	6,283,672 2,635,109 3,012,000 1,302,151 378,456 0 1,025

### ■2006年度決算報告書 2006年4月1日~2007年3月31日

科 目		金 額 (円)
受	基 金 運 営 費 (学院より)	2,594,986
	合 計	2,594,986
支	消 耗 品 費	77,494
出	旅 費 通 交 費	345,680
	通 信 、 運 搬 費	1,133,835
	印 刷 製 本 費	906,116
	報 酬 手 数 料	1,525
	会 議 会 合 費	18,036
	諸 費 費	70,000
	涉 外 費	13,800
	雜 費	19,500
	修 繕 費	0
	事 業 費	0
	寄 付 金	0
	合 計	2,594,986
收 入 一 支 出		0

### フェリス グッズ

#### ●本革ブックカバー 文庫用 (エンジ・キャメル)

各 2,500円

#### ●エプロン

(黒・赤・茶・紺・ピンク)

各 2,000円

#### ●ハンドタオル

(ピンク・クリーム・水色・  
黄緑・白)

各 450円

#### ●スプーン フォークセット 500円

#### ●申し込み先

家政科同窓会りべるて

Tel・Fax  
(045) 662-0750

会長 金子和恵

会計 村嘉子

石井克子

河合恵子

監査の結果、相違ないことを確認致しました。

監査 2007年4月11日

渡辺晃子

郷佑美

# 追悼弓削達先生



られたので、フェリスについてご存知なのは当然かとも思いましたが、実は着任以前にフェリスの『100年史』を精読なつていたということを、私たちはその時初めて知りました。まさに歴史家の面目躍如といふところでしょう。

ローマ史がご専門の先生は、ローマ帝国の興亡を見通す目をもつて、現在の日本の現状とその行く末を考察して警鐘を鳴らすという社会的な活躍をされました。本学の学長としては、日本という国の中にフェリス女学院大学が置かれているということの意味、その使命について深く考えておられました。

静岡県の熱川で静養しておられた弓削達先生は、一〇〇六年一〇月一四日召天されました。先生は古代ローマ史研究の第一人者で東京大学名誉教授、フェリス女学院大学名誉教授であります。

フェリス女学院大学では八年にわたり学長を勤められ、この間、同大学の国際文化学科新設、大学院研究科の設置などに尽力されました。

## 「追悼弓削達先生」

文学部教授 藤江 峰夫

弓削先生は、柴田三千雄先生と同期でフェリスに来られました。着任されてしまらくなつた頃、お一人とお話ををしていて、私たちが驚嘆したことがありました。それは、お一人がフェリスの歴史について、私たちよりもはるかに詳しく知つておられたことでした。弓削先生は敬虔なキリスト者であ

英文と日文（当時は国文学科）二学科の文学部に国際文化学科を加えて三学科とし、短大の音楽科を音楽学部に改組して二学部構成としたのは、弓削学長の代のことです。また、国際文化学科を基にして国際交流学部が発足したのは、弓削先生がご退職なさった年のことでした。日本の中にはりながら世界を見据えるというフェリスの伝統を確固たるものとして大学の中に位置づけ、幅広い教養を身につけた有為の人材を社会に送り出す、というのが弓削先生のお考えであったと思います。

フェリスのために尽力された功績もさることながら、誰にでも気さくに声をかけられ、誰からも敬愛され、周囲の人々を明るく包み込んでいた先生のお姿が、今でも目に浮かびます。

弓削先生、ありがとうございました。わくば、フェリスの前途が弓削先生の意思を継ぐものであらんことを。

## 東京支部

## 同窓会支部だより

## 関西支部

昨年の関西支部同窓会は、秋晴れの良き日

11月8日に、大坂城にほど近い元個人のお屋敷だった、広大な庭園のある「太閤園」で、美しいお庭を愛でながら、例年にも増して47名の方々が御参集されました。ご高齢にもかかわりませず、美しい和服姿で御出席くださった大先輩に、古き良きフェリスの懐かしさをおぼえ、また旧寮生の還暦のお祝いになつて参りました。フェリス同窓会の親睦を深めつゝ、これからも何かを学び、知らないことに出合つたりして、心に残る時を持ち度いと考えております。

秋の行事のご案内をさせていただきますと、十月五日（金）、十時三十分より浜松町東京公会館において総会を行ないます。午後の講演に国際基督教大学のツベタナ・クリステワ教授をお招き致しました。日本の古典文学をご専門になさるブルガリア出身のツベタナ先生は、「枕草子」や「源氏物語」などを読み解かれ、独自の見解を展開なさっていらっしゃる方です。どの様なお話を伺えるか楽しみでございます。十一月半ばには「蔵の町」と言われる川越へ、文化財や史跡など訪ね度いと計画しております。名物つまいも料理もいただくつもりです。是非ご参加くださいませ。食費以外の方のご出席も大歓迎でございます。関心がお有りの催しが見つかりましたらどれか一つにでもおいでいたいと思います。

今年の同窓会も、11月の第2水曜日に神戸を予定しております。関西の方はもちろん、他方面の方々もどうぞご参加くださいませ。

（連絡先）

岡本敦子 FAX 0797-350940まで

高間美鈴 03-3321-2687

● ニューヨーク事務所 Mrs. Rakuko Kuwayama 136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A. TEL 212-675-3840
● ハワイ事務所 Mrs. Chizu Hatakeyama 3043 Hollinger St. Honolulu, HI. 96815-4211 U.S.A. TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579
● カリフォルニア事務所 Mrs. Junko Yokota 3117 Mabury Rd. San Jose, CA. 95127 U.S.A. TEL 408-923-4632 FAX 408-729-5669
● ロンドン事務所 Mrs. Reina Shimizu 121 B Ashfield St. London E1 3EX, U.K.

● フェリス女学院同窓会主催  
**クリスマス礼拝のご案内**

《日時》  
2007年12月8日(土)  
午前 11時～12時

《場所》  
カイパー記念講堂

《説教者》  
フェリス女学院 中高宗教主任  
**野田 美由紀先生**

\* フェリス女学院全同窓会主催  
皆様、どうぞご参加下さい



2006年度 フェリス女学院同窓会連絡会 会計報告  
(2006年4月1日～2007年3月31日) (単位 円)

前年度繰越金	653,807
全同窓会維持費 (70,000×4)	280,000
利 息	400
小 計	280,400
合 計	934,207
各支部(東京、西南、関西)へ祝儀〔含、郵送料〕	61,060
クリスマス礼拝関連費	89,165
備品購入	518
合 計	150,743
翌年度繰越金	783,464

翌年度繰越金は、783,464円です。

以上、ご報告申し上げます。

2007年5月10日 会計りべるて 小倉 由紀子

四十名の出席者の皆様それぞれ、その科を越えて、年代を越えてお交わりが出来ますことは、この上なく感謝と喜びです。更に、その輪が広がって行きますことを期待致しております。

当番幹事のH2卒の大神薫子さん、S61卒の水江篤子さんのお働きには心より感謝でした。大変お世話になりました。盛会に終わりましたこと感謝です。

"For Others"の志の如く、その精神と共に、同窓会活動にお一人でも多くの方々が関心を持っています。下さいますことを、祈るばかりです。

今年も同窓会総会を秋に予定しております。役員の方々を始め幹事の皆様の温かいご協力に感謝しつつ、準備を進めております。

今回は当番幹事を家政科の方々にお願いし、お世話になります。皆様どうぞお誘い合せの上、ご参加下さいます様お願い致します。素晴らしい母校に連なる卒業生として、喜こんで感謝してお役をさせて戴きます。

支部長 伊藤和子(音楽科24期卒)

クリスマス礼拝(2006年) 献金先

献金総額	130,984円
日本ユニセフ協会	32,746円
日本キリスト教海外医療協力会	32,746円
難民を助ける会	32,746円
社会福祉法人日本医療伝道会	32,746円

主に感謝致します。  
同窓生の皆様にはご健勝にお過ごしのことと存じます。

昨年の西南支部同窓会総会は、十一月二日(木)に、音楽科十回生の声楽家の大庭照子さんをお招きして、福岡の「聘珍樓」にて開催いたしました。

楽しいお話しと、ミニ・コンサートが計画されました。艶のあるしつとりとした素敵なお声に感動致しました。時を忘れて、楽しくお話しが弾みました。

四十名の出席者の皆様それぞれ、その科を越えて、年代を越えてお交わりが出来ますことは、この上なく感謝と喜びです。更に、その輪が広がって行きますことを期待致しております。

当番幹事のH2卒の大神薫子さん、S61卒の水江篤子さんのお働きには心より感謝でした。大変お世話になりました。盛会に終わりましたこと感謝です。

"For Others"の志の如く、その精神と共に、同窓会活動にお一人でも多くの方々が関心を持っています。下さいますことを、祈るばかりです。

今年も同窓会総会を秋に予定しております。役員の方々を始め幹事の皆様の温かいご協力に感謝しつつ、準備を進めております。

白菊会主催のカイパー・サタデーコンサートは来年三月の予定です。詳しくはまたご案内いたします。こちらもぜひお出かけください。

## 西南支部

## 白菊会より

白菊会は役員が交代いたしました。会長は服部ひろ子、副会長は西谷洋子と衛藤怜子です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年は同窓会ができて百年。一九〇七年、

ブース校長のときに、在校生・教職員・卒業生のみなが集う会として誕生いたしました。

関東大震災後に在校生の学友会と卒業生の同窓会が別れ、一九八三年からは短大、大学、高等学校の同窓会が独自に活動をするようになりました。

それでも私たちは一つのフェリスファミリーです。紫陽花は満開に近く、中庭のイングリッシュデーリングもまだ花を残している六月二日、短大、大学からもご出席頂き、オールフェリスの「百年記念白菊会総会」をカイパー記念講堂で無事行うことができました。みなさまに心から感謝申し上げます。

今年から二年間、白菊会は同窓会連絡会のお当番を勤めさせていただきます。十一月八日(土)の全同窓会クリスマス礼拝は久しうにカイパー記念講堂で行われますので、みなさまどうぞお出かけください。



## サークル紹介

### 聖書を学ぶ会

お詫び 気仙三先生  
日時 第二木曜日 十時半～十二時  
場所 中高同窓会室  
連絡先 杉浦昌子(S26)

○四五(三三五)一～〇五  
○四五(三三五)一～〇五

### 書道サークル

初心者の方でも気軽に入会できます。  
日時 第四木曜日 一時～四時  
場所 大学(山手)六号館別館一階  
連絡先 望月幸子(56E)  
○三四(三三七)一～八五

### デイジーグリークラブ

指導 田中順先生  
月二回水曜日 一時半～三時  
場所 白菊会同窓会室  
連絡先 鈴木道子(S41)  
○四五(九三四)七六〇三

■ 大学音楽学部演奏会のお知らせ ■  
◆12月14日 第28回クリスマスコンサート 神奈川県立音楽堂  
クリスマスオラトリオ(4～6部)  
出演 指揮:小泉ひろし  
Sop.西由起子、Alt.田中奈美子、  
Ten.藏田雅之、Bas.星野聰、  
Cemb.浅井寛子、Org.宇内千晴  
開演 18:30  
◆'08年3月6日 第17回「メサイア」 神奈川県立音楽堂  
出演 指揮:小泉ひろし  
Sop.平松英子、Alt.田中奈美子、  
Ten.藏田雅之、Bas.星野聰、  
Cemb.浅井寛子、Org.宇内千晴  
開演 18:00  
問い合わせ:演奏委員会室 TEL 045-681-5189

## ■ Fグループ演奏会のお知らせ ■

◆9月24日(月・祝)  
ジョイント・コンサート フェリスホール  
～ピアノ、ヴァイオリン、ソプラノによるコンサート～  
開演 14:00 料金 ¥2,000  
◆10月8日(月・祝)  
研修会 小さき星 はるかな空 フェリスホール  
武久源造氏によるオルガン等の演奏とお話  
～ソプラノ松堂久美恵さんと共に～  
開演 14:00 料金 ¥1,000  
◆11月8日(木)  
ティータイムコンサート 山手6号館632教室  
講師:白井貴子(31回)  
内容:未定  
開演 14:00 料金 ¥1,000  
問い合わせ:Fグループ事務局 TEL 045-681-6740  
※詳細はP.7に掲載

## 英語読書会

指導 吉野洋子先生  
日時 第三水曜日 十時半～十二時  
場所 中高同窓会室  
連絡先 伊藤眞美  
○四六七(四三)〇八九九

## 世界史講座—キリスト教と世界史—

講師 棟居洋先生  
日時 第三木曜日 十時半～十二時半  
場所 中高同窓会室  
連絡先 数原安子(S48)  
○四五(四三三)五六九九



## 永眼者(お届けのあつた方)

大学名譽教授 冂削達先生 一二〇〇六・十・十四

### Fグループ

古谷美江姉(7M) 一一〇〇五・九  
三宮康子姉(3M) 一一〇〇六・八・七  
伴野さら子姉(21M) 一一〇〇七・四・四  
大岡妙子姉(4M) 一一〇〇七・六・一四

### Fグループ

加藤真由美姉(71E) 一一〇〇一・六

鯨崎美智子姉(85J)

一一〇〇四・六・一五

山野井智里姉(05J)

一一〇〇六・三・四

津田理枝姉(83J)

一一〇〇六・二・一六

信田俊子姉(64E)

一一〇〇六・二・一三

堤順子姉(62E)

一一〇〇七・一・一一

りべるて

神田美和子姉(D33)

一一〇〇五・三

倉重厚子姉(D48)

一一〇〇六・九・一四

竹中栄子姉(D52)

一一〇〇七・一・一二

村尾順子姉(D33)

一一〇〇六・一〇・一二

土地川千代子姉(D31)

一一〇〇七・一・一二

天来の慰めをお祈りいたします。

## 大学祭 FERRIS FESTIVAL 2007

### ● テーマ : Ferris de chocolat

～魔法のような時間をつめました～

開催日時:十一月三日(土)・四日(日)

十一時～二十時(両日出店は十七時まで)

開催場所:緑園キャンバス

## 教職センターからのお知らせ

### ● テーマ : Ferris de chocolat

昨年度より教職についていらしゃるOGの方々とのメーリングリストを始め、輪が少しずつ広がっております。常勤でも非常勤でさらに求人情報の交換の場も作ろうと、今準備をしております。常勤でも非常勤でも結構ですので、何か情報がありましたらどなたからでもお願い致します。

また、「二〇〇六年年度教職センター報告」(B5版、全60頁)を刊行しました。フェリスの教職課程の歴史と現状がコンパクトにわかる創刊号です。入手ご希望の方はご報下さい。(送料無料)。

以上についてのご連絡は教職センター宛にお願い致します。  
フェリス女学院大学教職センター  
FAX〇四五一一九四七三  
メールアドレス kyoshiyoku@ferris.ac.jp

## 編集後記

今年も無事会報をお届けできる事を、感謝いたしました。編集にたずさわるところで、たくさんの方々との出会いがありました。たく

さんの素敵なお話を聞く機会は、私たちフェリスで学んだという共通の経験は、私たちをつなげてくれます。「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたの方も人にしなさい」。皆様の実践にお礼申し上げます。協力の果実をここに捧げます。

## フェリス女学院大学同窓会会報

二〇〇七年八月発行  
担当:家政科同窓会りべるて  
〇四五(六六二)〇七五〇  
〇四五(六八一)六七四〇  
〇四五(八一)八六九二

りべるて